

【目次】

1. アーカイブ No.31

連載「日本労働会館物語」第 28 回

＜社会主義研究会から社会主義協会へ＞

2. 7/23(水)～25(金) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・第一期「正道塾」第三回 (最終回) 17 名

3. 7/30(水) 団体見学・JVC ケンウッドシニアクラブ 10 名

4. お知らせ

(1) 友愛労働歴史館の 7 月 1 日から電話番号が変わりました。

(2) 夏季休館日は、8 月 13 日(水)～17(日)です。

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.31

連載「日本労働会館物語」第 28 回 2011.06.02 発行の第 32 号に掲載

＜社会主義研究会から社会主義協会へ＞

明治 31(1898)年 10 月 10 日に設立され、後に社会主義協会を経て社会民主党(日本で最初の社会主義政党)へと発展する社会主義研究会は、定例会開催を主な活動としていました。

第 1 回例会は明治 31(1898)年 10 月 18 日、惟一館図書館(後の日本労働会館、現友愛会館)で開かれました。参加したのは村井知至・佐治実然・神田佐一郎・豊崎善之助・岸本能武太・新原俊秀・片山潜・河上清・高木正義の 9 名で、村井知至が「資本主義綱要」、高木正義が「社会主義研究の参考書と研究方針」というテーマで、それぞれ報告を行いました(『社会主義の誕生—社会民主党 100 年』より)。

以下、定例会で河上清(第 2 回、第 4、第 9 回)、岸本能武太(第 2 回)、片山潜(第 5 回、第 10 回)、安部磯雄(第 7 回、9 回、11 回)、幸徳秋水(第 8 回)らが報告を行っています。

こうして社会主義研究会の定例研究会は明治 31 年 10 月からスタートし、明治 33(1900)年 1 月 28 日の第 11 回まで開催されました。関連記事がユニテリア

ン協会機関誌『六合雑誌』に掲載され、またこの頃、開催されていたユニテリアン協会日曜演説会の弁士が安部・村井・岸本・佐治・神田・豊崎らの社会主義研究会員であったため、『六合雑誌』は「あたかも社会主義研究会の『機関誌たるかの観を呈した』と評され」たようです(前掲書)。

社会主義研究会は第11回例会で「社会主義協会」に改称し、会長に安部磯雄を選出。これにより単なる研究会から活動団体へと脱皮し、「社会主義者にあらざる者は実際に於て退会」(安部磯雄)いたします。なお、社会主義協会の事務所は、片山潜の神田三崎町・キングスレー館に置かれることになりました。

社会主義協会規則(前掲書より)

第一条 名称 本会は社会主義協会と称す

第二条 目的 社会主義の原理を討究しこれを我邦に応用するの可否を考査するを目的とする

第三条 役員 本会に会長一名を置き会務を総理し幹事一名を置き庶務を処理せしむ但し各任期は一箇年とす

第四条 会員 一定の職業を有し社会主義を賛同する者は会員たるを得

第五条 事業 毎月一回例会を開き社会主義及び社会問題を研究す又時々演説及討論の公開を開くことをあるべし

第六条 会費 会員は会費として毎月金20銭を収べし

第七条 会場 本会は東京神田三崎町三丁目一番キングスレー館を以て会場と定む

2. 7/23(水)～25(金) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・第一期「正道塾」第三回(最終回) 17名

「歴史は未来の鏡である」、「過去は変えられないけれど、未来は変える(創る)ことができる」の考え方から、ゼミナール方式で年間を通して塾を実施した。

主な内容は、①日本労働運動の100年余の歴史 ②流通労働運動の歴史 ③民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ④労働組合が政治・選挙に取り組む理由 ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥生産性運動三原則の変遷 ⑦コーポレートガバナンス ⑧あるべき労使関係⑨実践できるリーダーシップ論 ⑩流通産業の動向と労使の政策課題 ⑪民社党の歴史・百節不撓 ⑪次世代を担う流通労働運動のリーダーに期待すること等、全工程13講義、10演習、9視察を実施した最終回。塾生の熱心な勉強する態度に感謝。少々詰め込みすぎたのですが、お疲れ様でした。

3. 7/30(水) 団体見学・JVC ケンウッドシニアクラブ 10 名

JVC ケンウッドシニアクラブの 10 名が、常設展示「日本労働運動の 100 年余」を解説付きで見学。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。皆さんとっても熱心に見学しました。

4. お知らせ

(1)友愛労働歴史館の 7 月 1 日から電話番号が変わりました。

変更前 050-3473-5325 ➡ 変更後 03-3453-5386

(2)夏季休館日は、8 月 13 日(水)～17(日)です。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL 03-3453-5386

E メール yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

-----惟一館から 131 年、友愛会から 113 年-----